



～IB 保護者学習会～

保護者と教員による IB の評価についてのセッションを行いました。3日間で計22名の保護者の皆様にご参加いただきました。お忙しい中、本当にありがとうございました。実際の体育の課題に対して「評価」をつけてもらいました。「難しい」という話が出ながらも、積極的に話し合い、質問しながら評価がどのようにつくのかということを知っていただけたと思います。1時間の中で振り返りまでしていただいたので記載します。

第1回（10月11日）に参加いただいた保護者の振り返り

- ベストフィットのつけ方がなんとなくわかりました。ループリック等の言葉の理解が難しいのでその説明があるとありがたいです。
- 初めてでしたが、すみません、やっぱり、いまいち分からないというのが正直な所です。。
- 評価に対する内容がループリックにもとづいて決められていることがわかりました。
- 評価のつけ方がちょっと理解できたような気がします。
- 評価をつける際に複数の先生でコミュニケーションをとって話し合いながら評価しているというのはとても素晴らしいと思います。生徒がループリックというものと評価の関係について理解できるように導いていこうと思います。
- 評価の基準が流動的なので子どもたちが結果の理由を理解できないかも。「起承転結」を身につけてもらえば good!!

第2回（10月16日）に参加いただいた保護者の振り返り

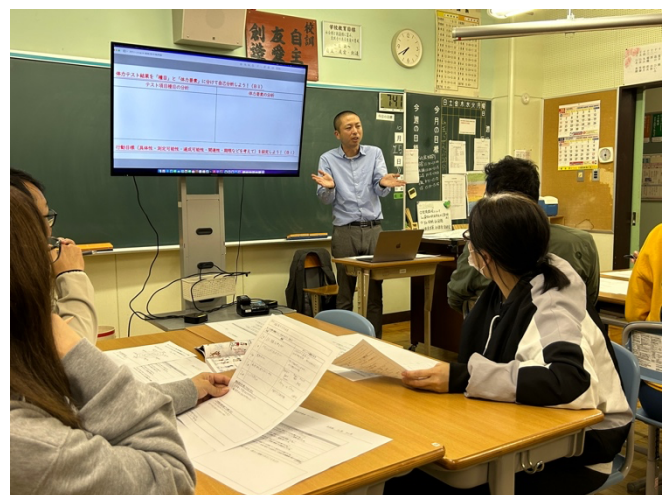
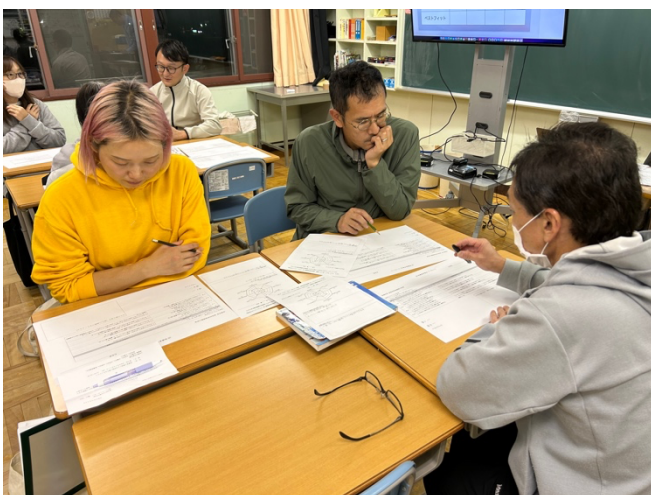
- 評価の基準が難しい。先生、生徒両方が IB を理解することで生徒にとって、とても良い仕組みだなと思います。それぞれの考えや世界観が広がりそうで良いです。
- 子どもたちに何を意図しているかを伝える、伝え方が大事だなと思いました。
- 子どもたちへのお膳立てがとても重要だということがよくわかりました。IB は子どもたちが自主的に動く・考えることを求めていると思っていたので、（言葉は悪いですが）多少、放任な部分もあるかと思っていたのですが、そのための準備が適切でなければならぬですね。
- 評価するのってとても難しくて時間がかかり大変だなあとわかりました。100点だから A!! といった単純作業の方がよほど簡単で早いけれど、だからこそ IB を導入している意味があるというか、これからの未来に必要な力がつくと感じました。
- 評価をつける時に、目標を述べられているか照らし合わせが難しく感じた。文章を書くのが得意なら高評価がとれそうな気がする。
- 少しでも子どもたちに7～8がとれるようにしていきたいのであれば、ワークシートに例えば「組み合わせに際しての工夫点や目標達成にむけての根拠をかきなさい」などと明記すれば、子どもは何について書くのかが分かりやすくなるのではないかと思う。要は教師側のねらいがはっきり子どもたちに伝わるようにすれば、子どもも求められているものがわかるのではないかと思う。
- 娘が「今日 IB で7取れた」と教えてくれていましたが、それがすごいことなのか、7が良い点なのかよく分からなかったので、少し評価について知ることができて良かったです。

第3回（10月24日）に参加いただいた保護者の振り返り

- 春の説明を受けた時より、評価の着眼点を少し理解できたと思います。
- テストの点だけでなく、レポートなどテスト+αの評価に変わってきている事。人間性もみて判断されていくのは良いと思いました。子どもたちにも納得いく評価の説明や、7~8があることでさらに上を目指すという子どもたちの意欲を引き出していけたらいいなと思います。
- 1番先生が大変だなと思いました。先生が変わってまた一からになった時が大変だなと。。
- 個々の評価については理解できました。ありがとうございます。一方、全体像は未だよくわからなかったです。IBの評価と既存の評価軸との変換がむずかしい。
- 今回の講習で、IBの全体像が少し分かった気がします。子どものためには、細かい評価基準になったことは、とても良いことだと思います。ただ、お話を聞いていると、先生方の、プリントの細かく分かれた評価、数も多くなり、ものすごく時間もかかり、大変になったのだろうなと思いました。
- 評価の仕組みについて、理解することができました。
- 思ったより評価が難しかった。テストの点数だけじゃないので、子どもが理解できれば評価もあがるかなと思いました。
- 今回やったのと、やらないでは、全然違ったと思うので、参加できてよかった。
- 意味をもって勉強に取り組むって大事ですね。

参加した教員による振り返り

- 教員同士でなくても、話し合いながら評価をつけることで、自分では気づけなかった視点に気付かされました。
- 生徒が「何」を「どう」取り組めば評価してもらえるか（達成感を味わえる）ということを確認に示すことが必要。
- “生徒にわかりやすいレベルの説明・文言に変える” 私は「太字は変えてはいけない」とらわれていたので、世界が広がったような気がします。自分のユニットプランを見直します。
- 目標に対して、文章のレベルが高すぎると感じた。そもそも、目標を簡単に述べることを目標にしているのだから、「分析」という言葉は入れない方が良いのでは。



学習会を開催したことにより、私自身も大変勉強になりました。やはり、こうしてIB通信を発行することも大切ですが、実際に保護者の方とお会いして、話をするということでお互いの理解が深まります。今後も、定期的にこのような会を開いたり、面談する機会を設けたりしていきますので、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

また、このような学習会は生徒にも行っていく必要性を感じました。なるべく早くそういった時間を確保し、生徒も評価について理解を深められるよう取り組んでまいります。